

「豊かな自然と共に」

豊かな自然を生かした学習活動を楽しむことができること！これが福井の教職の一番の魅力だと思う。

子どもは本来、好奇心が強く、体を動かすことが大好きだ。小さければ小さいほど。豊かな自然は、子どもたちにとって、とても魅力的な学習素材になる。低学年の生活科や中高学年の総合的な学習の時間はもちろんだが、小学校の担任なら、異なる教科の題材を関連づけたり、学級活動の時間を使ったりして、十分時間を確保し、ゆったりと学習活動を計画して楽しむことができる。

例えば、3年生の総合的な学習の時間のテーマ「地域」を「勝山のお宝探し」と題して進めてきた。鹿谷小学校では、その一つとして春のバンビライン登山がある。バンビラインに登ると、勝山市全体を見渡すことができ、社会科の学習へとつながる。展望台付近で写生をすれば（下描きだけだが）その地形や風景を心に留めるとともに、写生コンクールにも出品できて一石二鳥である。一番楽しいのはやはりなんといっても3年生の仲間とドキドキワクワクしながら山の坂道を歩くことだ。国語の「きつつきの商売」に登場したブナの林を見つけて「コーン」と叫んだこと、大きな葉っぱを傘にしてトトロの歌をみんなで歌ったこと、講師の先生から聞いた不思議な虫やきれいな野の花のこと、足を滑らせて泥んこになったこと、次々と思い出し、あげたらきりがなく、止まらない。そんな豊かな体験こそが、深い学びや成長につながるのだと思う。

目を輝かせ、生き生きと活動している子どもたちを見ることは、教職員として楽しく幸せな時間だ。また、子どもたちと一緒に活動していると、自分も楽しい。

自然を満喫しながら子どもと共に学ぶこと、これが一番の福井の教職の魅力だと思う。